

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年10月15日
【四半期会計期間】	第25期第2四半期（自平成21年6月1日至平成21年8月31日）
【会社名】	株式会社魚喜
【英訳名】	UOKI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 有吉 喜文
【本店の所在の場所】	神奈川県藤沢市湘南台2丁目10番地5
【電話番号】	0466(45)9282
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 早川 秀明
【最寄りの連絡場所】	神奈川県藤沢市湘南台2丁目10番地5
【電話番号】	0466(45)9282
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 早川 秀明
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第25期 第2四半期 連結累計期間	第25期 第2四半期 連結会計期間	第24期
会計期間	自平成21年3月1日 至平成21年8月31日	自平成21年6月1日 至平成21年8月31日	自平成20年3月1日 至平成21年2月28日
売上高 (千円)	7,590,777	3,729,500	16,348,318
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	121,780	97,854	116,508
当期純利益又は四半期純損失 ( ) (千円)	155,561	121,990	12,929
純資産額 (千円)	-	531,943	678,688
総資産額 (千円)	-	3,052,216	3,475,203
1株当たり純資産額 (円)	-	41.65	53.14
1株当たり当期純利益金額又は四半期 純損失金額 ( ) (円)	12.18	9.55	1.01
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	-	17.4	19.5
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	330,377	-	428,866
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	44,998	-	35,950
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	3,895	-	392,097
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高 (千円)	-	933,066	1,304,546
従業員数 (人)	-	551	557

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して  
おりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。潜  
在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存  
在しないため記載していません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成21年8月31日現在

従業員数（人）	551	(572)
---------	-----	-------

（注）従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は（ ）内に当第2四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成21年8月31日現在

従業員数（人）	545	(541)
---------	-----	-------

（注）従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は（ ）内に当第2四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【仕入及び販売の状況】

#### (1) 仕入実績

当第2四半期連結会計期間の仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント別	金額(千円)
鮮魚事業	1,951,582
飲食関連事業	188,379
合計	2,139,962

- (注) 1. 鮮魚事業の仕入高は、生魚、冷凍品、塩干品等であります。  
2. 飲食関連事業の仕入高は、デベロッパー事業における商品仕入、及び飲食事業における食材仕入であります。  
3. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 販売実績

当第2四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント別	金額(千円)
鮮魚事業	3,368,775
飲食関連事業	360,725
合計	3,729,500

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

#### 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

##### （1）業績の状況

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、堅調な海外経済に支えられた外需が寄与し景気回復に向けて動き出した感があるものの、消費や設備投資の低迷が雇用状況や所得環境の悪化を招き、今後、本格的な回復軌道に乗れるか先行き不透明な状態であります。

当社グループが事業の主体をおく生鮮食品小売業界の経営環境は、可処分所得の減少による個人消費の低迷に加え新型インフルエンザの流行等と昨年来の金融危機の影響で大幅に下落した基準地価が逆資産効果を誘発し、資産デフレのリスクに直面した個人消費者が節約志向を一層高めたため、廉価販売を強いられ、近年にない極めて厳しい未曾有のものであります。

このような状況において、当第2四半期連結会計期間の当社グループの売上高は、従前より収益構造の改善を図るべく不採算店の撤退と新規市場獲得のための積極的な出店を進めてまいりましたが、景気の先行き不安等に伴う需要の減少が予想以上に大きく37億29百万円となりました。

利益面におきましては、退店による経費負担の軽減と人件費等の販管費の大幅な削減を実施しましたが、売上高の減少に伴う売上総利益の減少を賄いきれず、営業損失は90百万円、経常損失は97百万円、四半期純損失は1億21百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

鮮魚事業		飲食関連事業	
・売上高	33億68百万円	・売上高	3億60百万円
・営業利益	31百万円	・営業利益	29百万円

##### （2）財政状態の分析

###### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、30億52百万円と前連結会計年度末に比べ4億22百万円の減少となりました。

流動資産は18億12百万円と前連結会計年度末に比べ4億17百万円の減少となり、また、固定資産は12億40百万円と前連結会計年度末に比べ5百万円の減少となりました。

流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少3億71百万円等によるものです。

###### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債の総額は、25億20百万円と前連結会計年度末に比べ2億76百万円の減少となりました。

流動負債は16億77百万円と前連結会計年度末に比べ1億85百万円の減少となり、また、固定負債は8億42百万円と前連結会計年度末に比べ90百万円の減少となりました。

流動負債の減少の主な要因は、買掛金の減少2億70百万円等によるものです。

###### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、5億31百万円と前連結会計年度末に比べ1億46百万円の減少となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、第1四半期連結会計期間末に比べ4億24百万円減少し、9億33百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は4億45百万円となりました。

これは主に、売上債権の減少1億81百万円等による収入、仕入債務の減少5億33百万円等による支出によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は有形固定資産の取得による支出等で31百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は短期借入金の増加等で51百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【設備の状況】

#### (1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、新たに実施した重要な設備の除却は次のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	事業の種類別 セグメントの名称	内容	閉店月	帳簿価額(千円) (注)
当社・千林店	大阪府大阪市旭区	鮮魚事業	店舗の閉鎖	平成21年8月	-

(注) 千林店の帳簿価額は減損処理後の帳簿価額であります。

#### (2) 設備の新設の計画

前四半期連結会計期間末において計画中であった当社・F1マート桑名陽だまり店の店舗設備の増設については、平成21年6月に完了いたしました。

当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設計画は次のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	事業の種類別 セグメントの 名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定	
				総額(千 円)	既支払額 (千円)		着手	完了
当社・ミスター マックス岡山西店 (仮称)	岡山県岡山市 北区	鮮魚事業	店舗設備	8,000	-	自己資金	平成21年11月	平成21年11月

(注) 上記金額には消費税等を含めておりません。

#### (3) 設備の除却の計画

当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の除却計画は次のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	事業の種類別 セグメントの名称	内容	閉店月	平成21年8月末 帳簿価額(千円) (注)
当社・パレットタウン ヴィー ナスフォートファミリー店	東京都江東区	飲食事業	店舗の閉鎖	平成21年12月	-
当社・ストア福山店	広島県福山市	鮮魚事業	店舗の閉鎖	平成22年3月	3,163
当社・福山ロツツ店	広島県福山市	鮮魚事業	店舗の閉鎖	平成22年3月	-
合計	-	-	-	-	3,163

(注) パレットタウン ヴィーナスフォートファミリー店、ストア福山店及び福山ロツツ店の平成21年8月末の帳簿価額は減損処理後の帳簿価額であります。

なお、ストア福山店の平成21年8月末帳簿価額(千円)は他店への転用が可能な固定資産の帳簿価額であります。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	26,000,000
計	26,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成21年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年10月15日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	12,779,280	12,779,280	東京証券取引所市場第二部	単元株式数 500株
計	12,779,280	12,779,280		

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成21年6月1日～ 平成21年8月31日		12,779,280		941,031		1,029,015

#### (5)【大株主の状況】

平成21年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
有限会社フォー・エム	神奈川県藤沢市湘南台2-34-3	3,822	29.93
有吉 喜文	神奈川県藤沢市	1,958	15.34
有吉 和枝	神奈川県藤沢市	1,158	9.07
株式会社南日本銀行	鹿児島県鹿児島市山下町1-1	498	3.90
UOKI社員持株会	神奈川県藤沢市湘南台2-10-5	365	2.86
福田 次起	神奈川県横須賀市	170	1.34
株式会社横浜銀行	神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1	144	1.13
村田 吉弘	京都府京都市東山区	85	0.67
小林 隆	和歌山県日高郡日高川町	63	0.50
有吉 実保	神奈川県藤沢市	54	0.42
大庭 美和	神奈川県藤沢市	54	0.42
計	-	8,374	65.57

(注) 1. 所有株式数の千株未満は切り捨てております。

2. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、自己株式8,659株を控除して計算しております。

(6)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成21年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 8,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,764,000	25,528	-
単元未満株式	普通株式 6,780	-	1単元(500株)未満の株式
発行済株式総数	12,779,280	-	-
総株主の議決権	-	25,528	-

【自己株式等】

平成21年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社魚喜	神奈川県藤沢市湘南台 2-10-5	8,500	-	8,500	0.07
計		8,500	-	8,500	0.07

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年3月	4月	5月	6月	7月	8月
最高(円)	124	166	163	192	209	207
最低(円)	103	122	146	163	186	175

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第二部におけるものであります。

### 3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

#### (1) 役職の異動（平成21年9月4日付）

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
代表取締役社長	-	取締役会長	-	有吉 喜文	平成21年9月4日
取締役相談役	-	代表取締役社長	-	藤井 忠芳	平成21年9月4日

#### (2) 役職の異動（平成21年9月15日付）

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
代表取締役社長	執行役員社長 東日本統括事業部長	代表取締役社長	-	有吉 喜文	平成21年9月15日
取締役	専務執行役員 本社業務担当	常務取締役	関連会社担当	福田 次起	平成21年9月15日
取締役	常務執行役員 中部日本統括事業部長	取締役	東日本統括事業部長	山口 延幸	平成21年9月15日
取締役	常務執行役員 管理部門担当 兼 内部 統制担当	取締役	内部統制担当	野崎 弘	平成21年9月15日
取締役	常務執行役員 西日本統括事業部長	取締役	西日本統括事業部長	大島 正	平成21年9月15日

(注) 当社では、平成21年9月15日開催の取締役会において、業務執行の強化と責任を明確にすることにより取締役会の意思決定の迅速化と監督機能を強化し、経営のスピードアップを図るため執行役員制度を取締役に適用することを決議いたしました。執行役員は以下の9名であります。

(取締役を兼務する執行役員：5名)

執行役員社長 有吉 喜文、専務執行役員 福田 次起、常務執行役員 山口 延幸、同 野崎 弘、同 大島 正

(執行役員：4名)

専務執行役員 中里 瑛、執行役員 早川 秀明、同 伊藤 清彦、同 星 道秀

## 第5【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年6月1日から平成21年8月31日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年3月1日から平成21年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	933,066	1,304,546
売掛金	671,284	687,154
商品	66,583	77,773
貯蔵品	9,687	11,835
その他	132,096	149,422
貸倒引当金	633	671
流動資産合計	1,812,084	2,230,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	919,334	897,238
減価償却累計額	645,631	630,799
建物及び構築物(純額)	273,702	266,439
工具、器具及び備品	1,299,354	1,371,866
減価償却累計額	1,142,794	1,208,351
工具、器具及び備品(純額)	156,559	163,514
土地	389	389
有形固定資産合計	430,651	430,343
無形固定資産	34,500	36,805
投資その他の資産		
投資有価証券	72,657	59,023
敷金及び保証金	664,500	679,787
その他	40,177	41,537
貸倒引当金	2,356	2,356
投資その他の資産合計	774,979	777,991
固定資産合計	1,240,131	1,245,140
資産合計	3,052,216	3,475,203

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	587,856	858,409
短期借入金	400,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	192,000	192,000
未払金	182,923	173,445
未払法人税等	29,093	47,719
賞与引当金	63,502	28,334
その他	222,424	263,724
流動負債合計	1,677,800	1,863,633
固定負債		
長期借入金	628,000	724,000
長期預り保証金	202,376	201,608
繰延税金負債	5,185	-
負ののれん	6,909	7,273
固定負債合計	842,471	932,881
負債合計	2,520,272	2,796,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	941,031	941,031
資本剰余金	1,029,015	1,029,015
利益剰余金	1,440,445	1,284,883
自己株式	5,298	5,194
株主資本合計	524,302	679,968
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,640	1,279
評価・換算差額等合計	7,640	1,279
純資産合計	531,943	678,688
負債純資産合計	3,052,216	3,475,203

( 2 ) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)
売上高	7,590,777
売上原価	4,422,049
売上総利益	3,168,728
販売費及び一般管理費	3,274,736
営業損失( )	106,007
営業外収益	
受取利息	7
受取配当金	1,100
受取手数料	1,843
負ののれん償却額	363
その他	1,732
営業外収益合計	5,047
営業外費用	
支払利息	19,522
その他	1,297
営業外費用合計	20,819
経常損失( )	121,780
特別利益	
貸倒引当金戻入額	38
特別利益合計	38
特別損失	
固定資産除却損	1,358
店舗閉鎖損失	13,549
その他	100
特別損失合計	15,008
税金等調整前四半期純損失( )	136,750
法人税、住民税及び事業税	18,810
法人税等合計	18,810
四半期純損失( )	155,561

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	
売上高	3,729,500
売上原価	2,169,762
売上総利益	1,559,738
販売費及び一般管理費	1,650,396
営業損失( )	90,658
営業外収益	
受取利息	7
受取配当金	604
受取手数料	857
負ののれん償却額	181
その他	1,108
営業外収益合計	2,759
営業外費用	
支払利息	9,432
その他	522
営業外費用合計	9,955
経常損失( )	97,854
特別利益	
貸倒引当金戻入額	195
特別利益合計	195
特別損失	
固定資産除却損	1,264
店舗閉鎖損失	13,436
その他	100
特別損失合計	14,800
税金等調整前四半期純損失( )	112,460
法人税、住民税及び事業税	9,530
法人税等合計	9,530
四半期純損失( )	121,990

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成21年3月1日  
至平成21年8月31日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失( )	136,750
減価償却費	66,727
負ののれん償却額	363
貸倒引当金の増減額( は減少)	38
賞与引当金の増減額( は減少)	35,168
受取利息及び受取配当金	1,107
支払利息	19,522
固定資産除却損	1,358
店舗閉鎖損失	13,549
売上債権の増減額( は増加)	15,870
たな卸資産の増減額( は増加)	13,338
仕入債務の増減額( は減少)	270,552
その他の資産の増減額( は増加)	19,764
その他の負債の増減額( は減少)	49,766
未払消費税等の増減額( は減少)	2,325
その他	572
小計	275,032
利息及び配当金の受取額	1,107
利息の支払額	19,608
法人税等の支払額	36,843
営業活動によるキャッシュ・フロー	330,377
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
固定資産の取得による支出	49,058
無形固定資産の取得による支出	9,043
敷金及び保証金の差入による支出	2,873
敷金及び保証金の回収による収入	17,559
預り保証金の返還による支出	432
預り保証金の受入による収入	1,200
貸付けによる支出	3,846
貸付金の回収による収入	1,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,998
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額( は減少)	100,000
長期借入金の返済による支出	96,000
自己株式の取得による支出	104
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,895
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	371,480
現金及び現金同等物の期首残高	1,304,546
現金及び現金同等物の四半期末残高	933,066

【継続企業の前提に関する事項】

当第2四半期連結会計期間（自平成21年6月1日至平成21年8月31日）

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)
会計処理基準に関する事項の変更	<p>棚卸資産の評価に関する会計基準の適用</p> <p>通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、本部商材は主として移動平均法による原価法、店舗商材は最終仕入原価法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号平成18年7月5日公表分）が適用されたことに伴い、本部商材は主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定し、また、店舗商材は最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。</p> <p>なお、この変更による損益に与える影響はありません。</p>

【注記事項】

（四半期連結貸借対照表関係）

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末 (平成21年2月28日)												
<p>1. 当座貸越契約</p> <p>当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく当第2四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <table border="0"> <tr> <td>当座貸越極度額</td> <td>800,000千円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td>400,000千円</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td>400,000千円</td> </tr> </table>	当座貸越極度額	800,000千円	借入実行残高	400,000千円	差引額	400,000千円	<p>1. 当座貸越契約</p> <p>当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <table border="0"> <tr> <td>当座貸越極度額</td> <td>700,000千円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td>300,000千円</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td>400,000千円</td> </tr> </table>	当座貸越極度額	700,000千円	借入実行残高	300,000千円	差引額	400,000千円
当座貸越極度額	800,000千円												
借入実行残高	400,000千円												
差引額	400,000千円												
当座貸越極度額	700,000千円												
借入実行残高	300,000千円												
差引額	400,000千円												

（四半期連結損益計算書関係）

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)						
<p>販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table border="0"> <tr> <td>給与手当</td> <td>1,462,576千円</td> </tr> <tr> <td>店舗使用料</td> <td>715,995千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>57,546千円</td> </tr> </table>	給与手当	1,462,576千円	店舗使用料	715,995千円	賞与引当金繰入額	57,546千円
給与手当	1,462,576千円					
店舗使用料	715,995千円					
賞与引当金繰入額	57,546千円					

当第2四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)						
<p>販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table border="0"> <tr> <td>給与手当</td> <td>738,534千円</td> </tr> <tr> <td>店舗使用料</td> <td>350,711千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>30,954千円</td> </tr> </table>	給与手当	738,534千円	店舗使用料	350,711千円	賞与引当金繰入額	30,954千円
給与手当	738,534千円					
店舗使用料	350,711千円					
賞与引当金繰入額	30,954千円					

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年8月31日現在)	
現金及び預金勘定	933,066千円
現金及び現金同等物	933,066千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 12,779,280 株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 8,659 株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

	鮮魚事業 (千円)	飲食関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	3,368,775	360,725	3,729,500	-	3,729,500
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	7,308	7,308	(7,308)	-
計	3,368,775	368,033	3,736,809	(7,308)	3,729,500
営業利益又は営業損失( )	31,472	29,525	60,998	(151,657)	90,658

(注) 1. 事業区分の方法

当社グループの事業区分は、形態別に区分しております。

2. 各事業の主な商品

事業区分	主要商品
鮮魚事業	ウナギ長焼・有頭ブラックタイガー・中トロマグロ・にぎりバック
飲食関連事業	回転寿司・レストラン、不動産賃貸管理・事務代行業務

当第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)

	鮮魚事業 (千円)	飲食関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	6,867,199	723,577	7,590,777	-	7,590,777
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	14,589	14,589	(14,589)	-
計	6,867,199	738,166	7,605,366	(14,589)	7,590,777
営業利益又は営業損失( )	124,733	72,749	197,482	(303,490)	106,007

(注) 1. 事業区分の方法

当社グループの事業区分は、形態別に区分しております。

2. 各事業の主な商品

事業区分	主要商品
鮮魚事業	ウナギ長焼・有頭ブラックタイガー・中トロマグロ・にぎりバック
飲食関連事業	回転寿司・レストラン、不動産賃貸管理・事務代行業務

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

( 1 株当たり情報 )

1 . 1 株当たり純資産額

当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 8月31日)	前連結会計年度末 (平成21年 2月28日)
1 株当たり純資産額 41.65 円	1 株当たり純資産額 53.14 円

2 . 1 株当たり四半期純損失金額

当第 2 四半期連結累計期間 (自平成21年 3月 1日 至平成21年 8月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (自平成21年 6月 1日 至平成21年 8月31日)
1 株当たり四半期純損失金額 12.18 円 なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、1 株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1 株当たり四半期純損失金額 9.55 円 同左

(注) 1 株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第 2 四半期連結累計期間 (自平成21年 3月 1日 至平成21年 8月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (自平成21年 6月 1日 至平成21年 8月31日)
四半期純損失 (千円)	155,561	121,990
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失 (千円)	155,561	121,990
期中平均株式数 (株)	12,770,820	12,770,621

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年10月15日

株式会社魚喜  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 吉野保則 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木義則 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大和哲夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社魚喜の平成21年3月1日から平成22年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年6月1日から平成21年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年3月1日から平成21年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社魚喜及び連結子会社の平成21年8月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。